

「防府市売れるものづくり支援事業」  
採択事業所調査報告書

令和3年6月11日

一般社団法人山口県中小企業診断協会

## はじめに

当報告書は、平成 22 年度から平成 30 年度まで実施された「防府市売れるものづくり支援事業」に関する成果を調査する目的で、公益財団法人山口・防府地域工芸・地場産業振興センターが一般社団法人山口県中小企業診断協会に委託した調査の報告書である。

当事業は、防府市の事業所 28 社に対し、延べ 39 回採択を行い、総額 13,994,000 円の補助金を支給した。

今回の調査に当たり、参考資料の『「防府市売れるものづくり支援事業」訪問調査票』のひな型に記載されているように、応募の動機・効果・他の補助金に対する関心度・今後の支援策に通ずる採択された事業所側の要望を目的としてヒヤリングを行っている。

尚、今回の調査は、山口県中小企業診断協会に所属する下記中小企業診断士 5 名が令和 3 年 5 月中に直接事業所から回答を得、報告書の取り纏めは金田孝三郎診断士が担当した。

井本 浩嗣 診断士  
大下 憲彰 診断士  
金子 知史 診断士  
原 義夫 診断士  
溝田 修司 診断士

## 目次

### 1. 「防府市売れるものづくり支援事業」の概要

(1)事業目的	1
(2)要件	1
(3)補助金の種類	1
(4)採択実績	1

### 2. ヒヤリング調査

(1)調査方法	3
(2)対象事業所	3
(3)調査結果	3

### 3. 中小企業施策に関する提言

(1)防府市の企業動向	7
(2)国の中小企業施策テーマ	9
(3)具体的な主要支援事業	10
(4)防府市の中小企業振興施策	11
(5)防府市への提言	12

## 1. 「防府市売れるものづくり支援事業」の概要

### (1)事業目的

防府市内の中小企業者等が、新商品・新技術の開発や、優れた商品・技術の販路拡大に取り組む際に掛かる経費の一部を補助する制度。

### (2)要件

将来的に事業化・量産化が可能な特徴ある商品・技術  
新たな視点や技術を導入し、既製品・現行技術との差別化を図ったもの  
防府市の特色ある各種資源に注目し、その資源を活用したもの

### (3)補助金の種類

図表1のとおり、当補助事業は「新商品・技術開発」に取り組む経費を補助するものと、「販路拡大」に取り組む経費を補助するものの、2種類を設定した。

【図表1 補助金の種類】

種類	対象経費	補助率	上限
新商品・技術開発事業	開発・市場調査	1/2	100万円
販路拡大事業	展示会・調査分析・広告宣伝		50万円※

(※海外進出 100万円)

### (4)採択実績

「図表3」とおり、平成22年度から平成30年度の9年間で、採択された事業所は28社、延べ採択件数は39件、補助金支給総額は13,994,000円となった。

事業所ごとの採択頻度は、「図表2」の通りであり、採択事業所の大半は1回のみであったが、4回採択された事業所も1件あった。

【図表2 採択頻度（事業所別）】

採択頻度	事業所数	割合
1	20	71.4%
2	6	21.4%
3	1	3.6%
4	1	3.6%
(計)	28	100.0%

採択された28事業所のうち3社は、廃業・破産等により現在事業停止状態となっている。

【図表3 採択実績（事業所別）・年度別】

No.	事業所	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
1	(株)サンポリ		●								
2	(同)モンテヒロ		●								
3	ユアブランド(株)		●				●			★	●
4	三友(株)			●	★	●					
5	桑田醤油(有)			●							★
6	(有)ほうふ外郎本舗			●							
7	王子ゴム化成(株)				★		●				
8	光浦醸造工業(株)				★	●					
9	三協製菓				●						
10	(株)メルシー					●					
11	いち遊					●					
12	(有)システムオフィス河野					●					
13	(株)DERESI						★				
14	(株)シーエス						●	●			
15	工房 間鍋						●				
16	江越農園						●				
17	(株)平和医療器械							●			
18	アボンコーポレーション(株)							●		●	
19	中国電化工業(株)								●	●	
20	(株)NISHIKI								●		
21	三日月堂珈琲									★	
22	(有)猪俣製麺									●	
23	(株)原田									●	
24	(株)岡虎										★
25	虹とおひさま										●
26	BEANS				●						
27	江泊ブルーベリーハウス								★		
28	(株)福八										●

注) ● 販路拡大事業の採択

★ 新商品・技術開発事業の採択

ユアブランド(株)H22年度・H26年度の採択時の社名は、フラワースリッパ(株)

## 2.ヒヤリング調査

### (1)調査方法

参考資料の『「防府市売れるものづくり支援事業」訪問調査票』に基づき、5名の中小企業診断士が事業所の代表者又は担当者にヒヤリングを実施した。

### (2)対象事業所

採択された事業所28社のうち、廃業・破産等で現在事業停止している3社を除く25社に対し調査を実施した。

調査の結果、対象の25社全社から回答を得た。（回答率100％）

### (3)調査結果

〔応募理由〕

- 防府市の支援
- 自社で取組みと補助金の趣旨が一致
- スタッフの勧誘
- 他の補助金の代用
- 申請が簡単

	10
	21
	5
	0
	1

〔採択されてよかった点〕

全25社、延べ40件のコメントがあり、以下のとおり類別される。

- 販売促進 展示会などへの出展、他社・他業種・学校との連携
- 開発の後押し 自己資金だけでは取組めない、リスクヘッジとなる
- P R 自社HPの作成
- デザイン クオリティの高いパッケージ・商品・パンフレット

〔直接的な効果〕

- 売上増加
- 取引先増加
- 効果なし※

	15
	10
	4

※「売上増に繋がる商品化ができず」

「問い合わせの増加が売上増に繋がらなかった」

「地域連携を断念」

「調査不足で商品化できず」

〔持続的な効果〕

- 売上増加の継続
- 新たな事業展開
- 事業撤退・商品販売停止※
- コストアップ

	16
	10
	5
	0

※撤退1年後-1件、4年後-2件、5年後-1件、在庫処分中-1件

## 〔補助金－申請済み〕

- 事業再構築補助金  
 ものづくり補助金  
 小規模事業者持続化補助金  
 その他※

	2
	12
	7
	6

※「省エネ関連補助金」

「IT補助金」

「中小企業再始動補助金：やまぐち産業振興財団主催」

「創業補助金」

「UJIターン受入れ促進補助金」

## 〔補助金－申請予定〕

- 事業再構築補助金  
 ものづくり補助金  
 小規模事業者持続化補助金  
 その他※

	3
	11
	8
	7

※「研究・商品開発系」

「防府市がんばる事業者応援補助金」

「海外展開系」

「販路開拓系」

「HACCP整備系」

「エイジフレンドリー補助金」

## 〔補助金－対象経費〕

- 人件費  
 開発・研究費  
 機械設備  
 IT設備（ハード・ソフト）  
 社員教育・研修費  
 資金（保証料・金利負担）  
 その他※

	12
	14
	11
	9
	9
	2
	4

※「広告費」

「デザイン料」

「既存設備の更新」

「高齢従業員用バリアフリー施工費」

〔公募申請－時期〕

業種により適当な申請時期が異なる。

〔公募申請－期間〕

- 1か月
- 2か月
- 2～3か月
- 3か月
- 無回答

	5
	6
	5
	2
	7

〔公募申請－回数〕

- 1回
- 2回
- 3回
- 4回
- 通年・随時
- 無回答

	1
	12
	2
	1
	2
	7

〔補助金額（下限）〕

- 10万円
- 30万円
- 50万円
- 100万円
- 200万円
- 500万円
- 1,000万円
- 5,000万円
- 無回答

	1
	5
	6
	5
	3
	1
	1
	1
	2

〔補助率（下限）〕

- 1/3
- 1/2
- 2/3
- 3/4
- 無回答

	3
	8
	12
	1
	1



〔防府市に期待する企業支援策〕

全25社、延べ50件の意見があり、以下のとおり類別される。

- 補助内容 一定の事業所に集中せず、様々な事業所が採択される仕組み  
市外から進入する事業所より地元事業所への支援を優先  
業種を限定しない、納得性のある適用範囲  
研究開発・ものづくり等本格的に長期間取組むものへの支援  
ソフトウェア開発・デザイン・PR・通販など支援メニューの拡充  
人材育成・教育に関する補助金  
展示会・海外ビジネスの支援  
ランニングコストへの補助、設備更新への補助  
NPO法人が適合する支援
  
- 運営体制 運営側にビジネス知識が必要  
補助金等の企業支援策に関する情報発信の拡充  
予算消化目的の支援策は不要  
イベント・地域資源施策は尻すぼみ  
不採択の場合その理由の開示  
新たな事に積極的に取組みやすい環境づくり  
申請のし易さ、申請代行不要なレベル  
申請から採択までの期間の長さ
  
- 他の支援策 専門家派遣メニューの充実  
マーケティング等のセミナー開催  
高度な相談体制の確立  
事業再編・事業承継に挑戦する企業の支援  
防府の事業者の知名度アップ
  
- 産官学連携 市と一体となって取組む研究開発支援体制  
産官学もしくは企業間連携の主導役
  
- コロナ対応 影響が大きい業種への重点支援  
事業形態などを細分化して実情に合った支援  
支援対象業種を絞る根拠の明示

### 3.中小企業施策に関する提言

#### (1)防府市の企業動向

【図表 4 事業所数】

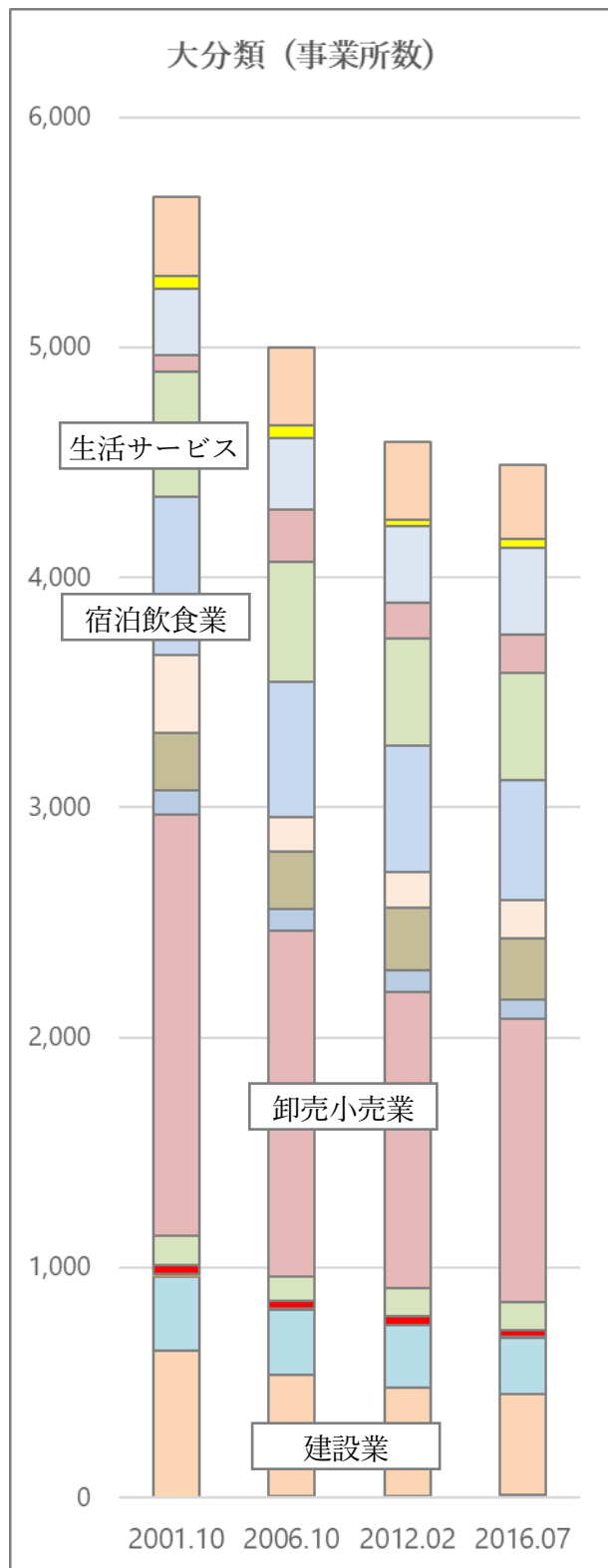
大分類		2001.10		2006.10		2012.02		2016.07	
A	農業，林業	1	0.0%	3	0.1%	10	0.2%	11	0.2%
B	漁業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.0%
C	鉱業・採石業・砂利採取業	2	0.0%	2	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
D	建設業	635	11.2%	528	10.6%	471	10.3%	439	9.8%
E	製造業	325	5.7%	283	5.7%	268	5.8%	243	5.4%
F	電気・ガス・熱供給・水道業	8	0.1%	8	0.2%	4	0.1%	4	0.1%
G	情報通信業	38	0.7%	34	0.7%	37	0.8%	26	0.6%
H	運輸業，郵便業	127	2.2%	105	2.1%	120	2.6%	125	2.8%
I	卸売業，小売業	1,835	32.5%	1,504	30.1%	1,288	28.1%	1,232	27.5%
J	金融業，保険業	103	1.8%	91	1.8%	93	2.0%	80	1.8%
K	不動産業，物品賃貸業	251	4.4%	250	5.0%	271	5.9%	266	5.9%
L	学術研究，専門・技術サービス業	335	5.9%	151	3.0%	155	3.4%	170	3.8%
M	宿泊業，飲食サービス業	691	12.2%	588	11.8%	553	12.1%	522	11.6%
N	生活関連サービス業，娯楽業	540	9.6%	518	10.4%	462	10.1%	466	10.4%
O	教育，学習支援業	77	1.4%	230	4.6%	157	3.4%	163	3.6%
P	医療，福祉	284	5.0%	310	6.2%	334	7.3%	379	8.4%
Q	複合サービス事業	57	1.0%	54	1.1%	28	0.6%	38	0.8%
R	サービス業（他に分類されないもの）	344	6.1%	339	6.8%	335	7.3%	321	7.2%
（計）		5,653	100.0%	4,998	100.0%	4,586	100.0%	4,488	100.0%

【図表 5 従業員数】

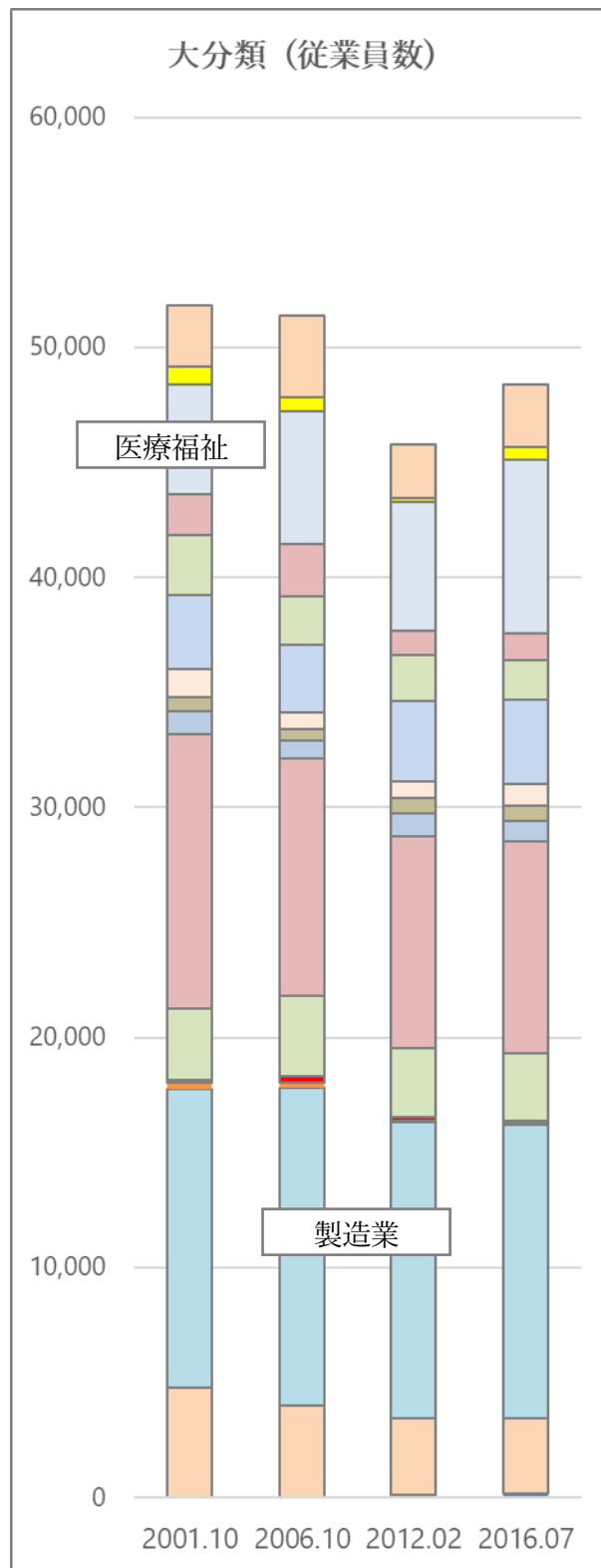
大分類		2001.10		2006.10		2012.02		2016.07	
A	農業，林業	2	0.0%	22	0.0%	113	0.2%	132	0.3%
B	漁業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	15	0.0%
C	鉱業・採石業・砂利採取業	10	0.0%	10	0.0%	0	0.0%	11	0.0%
D	建設業	4,772	9.2%	3,959	7.7%	3,353	7.3%	3,304	6.8%
E	製造業	12,999	25.1%	13,833	26.9%	12,870	28.1%	12,755	26.4%
F	電気・ガス・熱供給・水道業	238	0.5%	246	0.5%	48	0.1%	47	0.1%
G	情報通信業	132	0.3%	275	0.5%	148	0.3%	129	0.3%
H	運輸業，郵便業	3,109	6.0%	3,461	6.7%	3,012	6.6%	2,906	6.0%
I	卸売業，小売業	11,948	23.1%	10,326	20.1%	9,188	20.1%	9,246	19.1%
J	金融業，保険業	966	1.9%	795	1.5%	1,002	2.2%	892	1.8%
K	不動産業，物品賃貸業	631	1.2%	484	0.9%	660	1.4%	663	1.4%
L	学術研究，専門・技術サービス業	1,230	2.4%	692	1.3%	717	1.6%	903	1.9%
M	宿泊業，飲食サービス業	3,185	6.1%	2,960	5.8%	3,501	7.6%	3,706	7.7%
N	生活関連サービス業，娯楽業	2,621	5.1%	2,107	4.1%	1,985	4.3%	1,702	3.5%
O	教育，学習支援業	1,768	3.4%	2,303	4.5%	1,056	2.3%	1,134	2.3%
P	医療，福祉	4,783	9.2%	5,730	11.2%	5,619	12.3%	7,560	15.6%
Q	複合サービス事業	744	1.4%	598	1.2%	174	0.4%	549	1.1%
R	サービス業（他に分類されないもの）	2,679	5.2%	3,558	6.9%	2,328	5.1%	2,711	5.6%
（計）		51,817	100.0%	51,359	100.0%	45,774	100.0%	48,365	100.0%

防府市統計書による 2001（平成 13）年・2016（平成 18）年・2012（平成 24）年・2016（平成 28）年の防府市の企業に関する事業所数・従業員数は図表 4・5・6・7 のとおりであった。

【図表 6 事業所数】



【図表 7 従業員数】



2016（平成 28）年のデータにもとづき、事業所数・従業員数それぞれの上位 5 位は、図表 8 のとおりである。

【図表 8 上位 5 位：2016.7 調査】

順位	大分類		事業所数		大分類		従業員数	
①	I	卸売・小売	1,232	27.5%	E	製造	12,755	26.4%
②	M	宿泊・飲食	522	11.6%	I	卸売・小売	9,246	19.1%
③	N	生活関連・娯楽	466	10.4%	P	医療・福祉	7,560	15.6%
④	D	建設	439	9.8%	M	宿泊・飲食	3,706	7.7%
⑤	P	医療・福祉	379	8.4%	D	建設	3,304	6.8%
	(計)		3,038	67.7%	(計)		36,571	75.6%

図表 4・5 の 2016 年調査結果から導き出された大分類別 1 事業所当たり従業員数は、防府市の場合平均 10.8 人となった。

事業所数で 1 位の「卸売業・小売業」は、1 事業所当たりの従業員数は 11 位 7.5 人。

2 位の「宿泊業・飲食サービス業」は、13 位 7.1 人。

一方、8 位「製造業」は、1 事業所当たりの従業員数が 1 位の 52.5 人。

続いて 11 位「運輸業・郵便業」が 2 位の 23.2 人、5 位「医療・福祉」が 3 位 19.9 人。

防府市統計書から、事業所数は卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業、生活関連サービス業・娯楽業などの 3 次産業が 84.5% も占めているが雇用面では 66.4% に留まり、2 次産業が事業所数では 15.2% 程度であるのに対し雇用面では 33.2% 占めている。

【図表 9 平均従業員数：2016.7 調査】

順位	大分類	人
①	E 製造	52.5
②	H 運輸・郵便	23.2
③	P 医療・福祉	19.9
④	Q 複合サービス	14.4
⑤	F エネルギー	11.8
全分類平均		10.8

## (2) 国の中小企業施策テーマ

経済産業省は、例年年末に次年度の中小企業施策を公表する。その際に、補助事業等の事業規模と目的を表明している。

直近 5 年間の施策は図表 10 のとおりである。

テーマは多少表現が異なっているが、5 年間一貫して取り組む施策の共通キーワードは以下のとおりである。

「生産性向上」 ものづくり補助金・IT 化・先端設備導入計画・経営革新

「事業承継」 支援機関の拡充・税制改正

「事業環境整備」 相談窓口（よろず支援拠点）の拡充・小規模事業者支援策

「災害対応」 中小企業強靱化・事業継続力強化計画

【図表 10 年度別中小企業施策】

平成 29 年度	① 経営力強化・生産性向上に向けた取組
	② 活力のある担い手の拡大
	③ 安定した事業環境の整備
	④ 災害からの復旧・復興
平成 30 年度	① 事業承継の集中支援
	② 生産性向上に向けた集中支援
	③ 働き方改革実現に向けた集中支援
	④ 取引条件改善支援
令和 元 年度	① 事業承継・再編・統合等による新陳代謝の促進
	② 生産性向上・人手不足対策
	③ 地域の稼ぐ力の強化、インバウンドの拡大
	④ 災害からの復旧・復興・強靱化
	⑤ 経営の下支え、事業環境の整備
令和 2 年度	① 事業承継・再編・創業等による新陳代謝の促進
	② 生産性向上・デジタル化
	③ 地域の稼ぐ力の強化、インバウンドの拡大
	④ 経営の下支え、事業環境の整備
	⑤ 災害からの復旧・復興・強靱化
令和 3 年度	① 事業継続や事業再構築の後押し
	② 事業承継・引継ぎ・再生等の支援
	③ 生産性向上による成長促進
	④ 経営の下支え、事業環境の整備
	⑤ 災害からの復旧・復興、事前の備え

### (3)具体的な主要支援事業

#### 〔事業再構築補助金〕

- ・ポストコロナ・ウィズコロナ時代に対応する企業の思い切った事業再構築を支援
- ・通常枠 上限 6,000 万円 補助率 2/3
- ・ローカルベンチマークの活用

#### 〔ものづくり補助金〕

- ・革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善のための設備投資等を支援
- ・一般枠 上限 1,000 万円 補助率 1/2 (小規模事業者 2/3)
- ・経営革新・事業継続力強化計画の申請促進・賃上げ推奨

#### 〔小規模事業者持続化補助金〕

- ・地道な販路開拓・生産性向上のための取組み支援
- ・一般型 上限 50 万円 補助率 2/3
- ・経営力向上計画・事業承継診断票の作成推奨

#### 〔IT導入補助金〕

- ・自社の課題やニーズに合ったITツールを導入する経費を補助し業務効率・売上アップを支援
- ・通常枠 A 類型上限 150 万円 B 類型上限 450 万円 補助率 1/2
- ・賃上げ推奨

#### 〔事業承継・引継ぎ補助金〕

- ・事業承継と契機として新たな取組み、事業再編・事業統合に伴う経営資源の引継ぎを支援
- ・M&A 型 上限 800 万円（廃業費用+200 万円） 補助率 2/3
- ・経営革新の申請推奨

#### 〔阿武町事業承継支援奨励金〕

- ・円滑な事業承継の推進
- ・親族承継 上限 100 万円 第三者承継 上限 200 万円

#### 〔先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金〕

- ・先進的な省エネ設備等の導入を行う省エネ投資を支援（先進事業）
- ・先進事業枠 上限 15 億円 補助率 1/2（中小企業 2/3）
- ・省エネ率 30%以上、省エネ量 1,000kl 以上

#### 〔農林水産業みらい基金〕

- ・農林水産業と食と地域のくらしの発展を支援
- ・上限設定なし（実績ベース 2～3 億円） 補助率 9/10
- ・実質上、産官連携が必須

#### 〔山口県よろず支援拠点〕

- ・2014 年に国が全国に設置した個人事業主・中小企業者・創業予定者のための無料経営相談所
- ・専門家 12 名在籍（経営全般・マーケティング・IT・デザイン・労務）
- ・CONNECT22 の全国版

#### 〔山口県知財総合支援窓口：INPIT〕

- ・中小企業等の特許・商標等の知的財産に関する課題・悩みの無料相談所
- ・複数の弁理士・知的財産アドバイザーが在籍

#### 〔山口市事業承継支援事業〕

- ・山口市の事業承継に関する単費事業
- ・事業承継案件の掘り起こし（プレ承継）に関する専門家派遣費を山口市が全額負担

### (4)防府市の中小企業振興施策

防府市は、「防府市中小企業振興基本計画」にもとづき「防府市中小企業振興会議」を適宜開催している。平成 28 年度から平成 32 年度（令和 2 年度）の目標は以下のとおりであった。

- ① 経営の革新、創業及び承継
- ② 創造的な事業活動
- ③ 施設又は設備の導入並びに事業活動に有用な技術及び知識の向上
- ④ 情報発信の促進及び販路の拡大
- ⑤ 交流及び連携の推進並びに事業の共同化のための組織整備
- ⑥ 産業集積の活性化

- ⑦ 従業員の雇用環境の整備、雇用の維持及び創出並びに人材の育成
- ⑧ 資金調達の円滑化

上記 8 項目の目標に対する重点施策は、以下 7 つ設定されている。

- i 経済の地域内循環の促進
- ii 中小企業の実態調査
- iii 中小企業振興のための拠点の整備
- iv 創業支援
- v 事業承継・円滑な事業廃止
- vi 人材の確保・育成
- vii 新事業展開や高付加価値化の支援

令和 3 年度からの基本計画は、コロナ禍にあって防府市を取り巻く経営環境の見通しが立たないため、目標及び重点施策をそのまま引き継いだ暫定版（令和 3 年度・令和 4 年度）が策定されている。

## (5)防府市への提言

新型コロナウイルス感染症の影響により、中小企業を取り巻く環境は劣悪である。統計上の倒産件数は抑えられているが、コロナ融資の返済猶予期間の長期間設定、借り換えの適用で凌いでいるのが実情である。

帝国データバンクによると、この環境下であっても健全な経営を行っている企業は、共通の特徴を有している。業歴が 100 年超のいわゆる老舗企業が全国に約 34,000 社あり、年商が 10 億円未満の企業が 80% を占め、1 億円未満が 40% 占めている。一般に大規模な企業の方が環境変化への耐性が強いと思われているが、大戦下・リーマンショックでも生き延びた企業の実態は上記のとおりである。

これらの企業の転機となった出来事は、「業態の変化」と「取扱商品の変更」であった。また、今後も生き残るポイントとして、「信頼の維持・向上」と「進取の気性」を挙げている。

防府市の従来の様々な施策や今回のヒヤリング調査、或いは中小企業の実情から以下の取組みが有効と考えられる。

### ●ビジネスセンターの集約化

現在、防府市での事業所に対する相談体制は、防府商工会議所・CONNECT22・ルルサス（臨時）で行われている。

今後は、デザインプラザ HOFU に CONNECT22 を移転し、ビジネス拠点の一元化を図り情報発信拠点として位置づける。

### ●CONNECT22 の機能強化

今回の調査により、情報発信を適宜行っているが事業者には充分届いていないとの指摘があった。また、事業者のニーズとして、IT・デザイン・販売促進分野の専門家への相談機会が求められている。当分野の専門化の配置もしくは「よろず支援拠点」「INPIT」との更なる連携が効果的と考えられる。

## ●補助金の運営

単発的な事業ではなく、事業所側の投資戦略に沿うよう一定期間複数の申請を受け付ける対応が求められる。「ものづくり補助金」等も通年型に切り替えている。

また、事業者によっては補助金の趣旨が伝わっていないケースもあるため、運営面での煩雑さが生じるが、目的を絞った複数の事業を展開することも検討する価値がある。

## ●人材育成・従業員教育

ヒヤリング調査によると、補助金の対象経費として「社員教育」「研修費」が9件要望として挙がっていた。防府市独自の対応として「防府地域職業訓練センター」の活用があるが会計・OA関連がメインとなっている。

山口職業能力開発促進センター（ポリテクセンター山口）では、単に求職者用の職業訓練に留まらず、オーダーメイド型（申請事業所の会議室等で開催）の「生産性向上支援訓練」で生産管理・バックオフィス・組織マネジメント・マーケティング・ネットワーク・データ活用と、多種多様の分野に対応している。

防府市独自で対応することは困難であるため、関連する支援機関との連携が有効となる。

最後に令和3年4月28日に中小企業庁は、経営資源集約化等を推進するため今後5年間に実施すべき官民の取組みを「中小M&A推進計画」として取りまとめた。

中小企業の経営資源が散逸することを回避し、事業再構築を含めて生産性の向上を図るため、中小企業の経営資源を将来に繋ぐことを目的としている。

このように、一企業が生き残るためには一つの課題に取り組むだけでは充分ではなく、防府市中小企業振興基本計画に掲げられた目標項目を自社で対処することが求められる経営環境となってしまっている。当然、一企業の経営資源だけでは対応することは不可能であるため、複合的な支援が求められる。中小企業庁は「中小M&A推進計画」のなかで一つの解を提示している。すなわち、単なる「事業承継診断」に留まらず「企業健康診断（事業承継診断の発展的改組）」に取り組む姿勢を見せている。詰まり、即効性の特効薬はなく、地道な個社支援を積み上げていくことが最も効果的な対策と考えられる。